

平成23年度 九州大学2次試験前期日程(数学問題)120分  
文系(文学部, 教育学部, 法学部, 経済学部(経済・経営))

問題 1 2 3 4

1 放物線  $y = x^2$  上の点  $P(t, t^2)$  から直線  $y = x$  へ垂線を引き, 交点を  $H$  とする。ただし,  $t > 1$  とする。このとき, 以下の問いに答えよ。

- (1)  $H$  の座標を  $t$  を用いて表せ。
- (2)  $P$  を通り  $y$  軸に平行な直線と直線  $y = x$  との交点の座標を  $R$  とするとき, 三角形  $PRH$  の面積を  $t$  を用いて表せ。
- (3)  $x \geq 1$  の範囲において, 放物線  $y = x^2$  と直線  $y = x$  および線分  $PH$  とで囲まれた図形の面積を  $S_1$  とするとき,  $S_1$  を  $t$  を用いて表せ。
- (4) 放物線  $y = x^2$  と直線  $y = x$  で囲まれた図形の面積を  $S_2$  とする。  $S_1 = S_2$  であるとき,  $t$  の値を求めよ。

2 数列  $a_1, a_2, \dots, a_n, \dots$  は

$$a_{n+1} = \frac{2a_n}{1 - a_n^2}, \quad n = 1, 2, 3, \dots$$

をみたしているとする。このとき, 以下の問いに答えよ。

- (1)  $a_1 = \frac{1}{\sqrt{3}}$  とするとき,  $a_{10}$  および  $a_{11}$  を求めよ。
- (2)  $\tan \frac{\pi}{12}$  の値を求めよ。
- (3)  $a_1 = \tan \frac{\pi}{7}$  とする。  $a_k = a_1$  をみたす2以上の自然数  $k$  で最小のものを求めよ。

3 平面上に直角三角形  $ABC$  があり, その斜辺  $BC$  の長さを2とする。また, 点  $O$  は  $4\vec{OA} - \vec{OB} - \vec{OC} = \vec{0}$  をみたしているとする。このとき, 以下の問いに答えよ。

- (1) 辺  $BC$  の中点を  $M$  とするとき, 点  $A$  は線分  $OM$  の中点となることを示せ。
- (2)  $|\vec{OB}|^2 + |\vec{OC}|^2 = 10$  となることを示せ。
- (3)  $4|\vec{PA}|^2 - |\vec{PB}|^2 - |\vec{PC}|^2 = -4$  をみたす点を  $P$  とするとき,  $|\vec{OP}|$  の値を求めよ。

- 4 1から4までの数字が1つずつ書かれた4枚のカードがある。その4枚のカードを横一列に並べ、以下の操作を考える。

操作：1から4までの数字が1つずつ書かれた4個の球が入っている袋から同時に2個の球を取り出す。球に書かれた数字が $i$ と $j$ ならば、 $i$ のカードと $j$ のカードを入れかえる。その後、2個の球は袋に戻す。

初めにカードを左から順に1, 2, 3, 4と並べ、上の操作を2回繰り返した後のカードについて、以下の問いに答えよ。

- (1) カードが左から順に1, 2, 3, 4と並ぶ確率を求めよ。
- (2) カードが左から順に4, 3, 2, 1と並ぶ確率を求めよ。
- (3) 左端のカードの数字が1になる確率を求めよ。
- (4) 左端のカードの数字の期待値を求めよ。

## 解答例

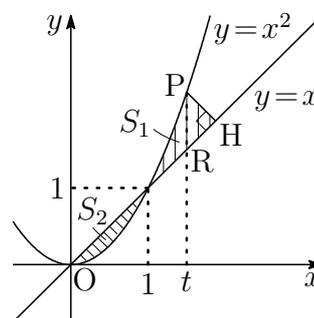
- 1 (1) 直線 PH は、点  $P(t, t^2)$  を通り、直線  $y = x \cdots \textcircled{1}$  に垂直な直線であるから

$$y - t^2 = -(x - t)$$

$$\text{すなわち } y = -x + t^2 + t \cdots \textcircled{2}$$

H の座標は  $\textcircled{1}$ ,  $\textcircled{2}$  を解いて

$$\left( \frac{t^2 + t}{2}, \frac{t^2 + t}{2} \right)$$



- (2)  $R(t, t)$  であるから

$$\triangle PRH = \frac{1}{2}PH^2 = \frac{1}{2} \left( \frac{PR}{\sqrt{2}} \right)^2 = \frac{1}{2} \left( \frac{t^2 - t}{\sqrt{2}} \right)^2 = \frac{1}{4}(t^4 - 2t^3 + t^2)$$

- (3) (2) の結果を用いて、求める面積  $S_1$  は

$$\begin{aligned} S_1 &= \int_1^t (x^2 - x) dx + \triangle PRH \\ &= \left[ \frac{1}{3}x^3 - \frac{1}{2}x^2 \right]_1^t + \frac{1}{4}(t^4 - 2t^3 + t^2) \\ &= \frac{1}{4}t^4 - \frac{1}{6}t^3 - \frac{1}{4}t^2 + \frac{1}{6} \end{aligned}$$

$$(4) \quad S_2 = \int_0^1 (x - x^2) dx = - \int_0^1 x(x - 1) dx = \frac{1}{6}$$

$S_1 = S_2$  のとき、上式および (3) の結果より

$$\frac{1}{4}t^4 - \frac{1}{6}t^3 - \frac{1}{4}t^2 + \frac{1}{6} = \frac{1}{6} \quad \text{ゆえに } t^2(3t^2 - 2t - 3) = 0$$

$$t > 1 \text{ に注意して } \quad t = \frac{1 + \sqrt{10}}{3}$$



**2** (1) 与えられた漸化式より

$$a_2 = \frac{2a_1}{1-a_1^2} = \frac{2 \cdot \frac{1}{\sqrt{3}}}{1 - \left(\frac{1}{\sqrt{3}}\right)^2} = \sqrt{3}$$

$$a_3 = \frac{2a_2}{1-a_2^2} = \frac{2 \cdot \sqrt{3}}{1 - (\sqrt{3})^2} = -\sqrt{3}$$

$$a_4 = \frac{2a_3}{1-a_3^2} = \frac{2 \cdot (-\sqrt{3})}{1 - (-\sqrt{3})^2} = \sqrt{3}$$

したがって、 $a_2$ 以降は、交互に $\sqrt{3}, -\sqrt{3}$ の繰り返しであるから

$$a_{10} = \sqrt{3}, \quad a_{11} = -\sqrt{3}$$

$$(2) \quad \tan \frac{\pi}{12} = \tan \left( \frac{\pi}{3} - \frac{\pi}{4} \right) = \frac{\tan \frac{\pi}{3} - \tan \frac{\pi}{4}}{1 + \tan \frac{\pi}{3} \tan \frac{\pi}{4}} = \frac{\sqrt{3} - 1}{1 + \sqrt{3}} = 2 - \sqrt{3}$$

$$(3) \quad a_n = \tan \theta_n \text{ とおくと } a_{n+1} = \frac{2 \tan \theta_n}{1 - \tan^2 \theta_n} = \tan 2\theta_n$$

$$a_1 = \tan \frac{\pi}{7} \text{ より}$$

$$a_2 = \tan \frac{2}{7}\pi, \quad a_3 = \tan \frac{4}{7}\pi, \quad a_4 = \tan \frac{8}{7}\pi = \tan \frac{\pi}{7}$$

よって、 $a_k = a_1$  をみたす最小の自然数  $k$  は 4 ■

3 (1)  $4\vec{OA} - \vec{OB} - \vec{OC} = \vec{0} \dots \textcircled{1}$  より  $\vec{OA} = \frac{1}{2} \cdot \frac{\vec{OB} + \vec{OC}}{2}$

M は BC の中点であるから  $\vec{OM} = \frac{\vec{OB} + \vec{OC}}{2}$

上の 2 式より  $\vec{OA} = \frac{1}{2}\vec{OM}$

よって、点 A は OM の中点である。

(2)  $\angle A = 90^\circ$  であるから、(1) の結果から、A は BC を直径とする円周上の点である。

$\vec{a} = \vec{AM}$ ,  $\vec{b} = \vec{MB}$  とおくと

$$\vec{OB} = 2\vec{a} + \vec{b}, \quad \vec{OC} = 2\vec{a} - \vec{b}$$

したがって

$$|\vec{OB}|^2 + |\vec{OC}|^2 = |2\vec{a} + \vec{b}|^2 + |2\vec{a} - \vec{b}|^2 = 8|\vec{a}|^2 + 2|\vec{b}|^2$$

$|\vec{a}| = 1$ ,  $|\vec{b}| = 1$  であるから  $|\vec{OB}|^2 + |\vec{OC}|^2 = 10$

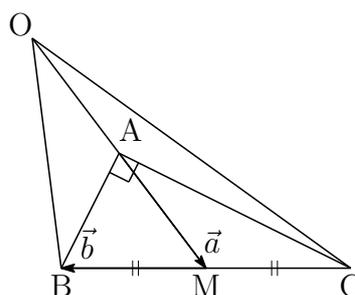
(3)  $4|\vec{PA}|^2 - |\vec{PB}|^2 - |\vec{PC}|^2 = -4$  より

$$4|\vec{OA} - \vec{OP}|^2 - |\vec{OB} - \vec{OP}|^2 - |\vec{OC} - \vec{OP}|^2 = -4$$

$$2|\vec{OP}|^2 - 2(4\vec{OA} - \vec{OB} - \vec{OC}) \cdot \vec{OP} + 4|\vec{OA}|^2 - (|\vec{OB}|^2 + |\vec{OC}|^2) = -4$$

上式に  $\textcircled{1}$ ,  $|\vec{OA}| = 1$ , および (2) の結果を代入し整理すると

$$|\vec{OP}|^2 = 1 \quad \text{ゆえに} \quad |\vec{OP}| = 1$$



- 4 (1) 1回の操作による球の取り出し方の総数は  ${}_4C_2 = 6$  (通り)  
カードが左から順に 1, 2, 3, 4 と並ぶのは, 2 回とも同じ球の組合せであるから, 求める確率は

$$\frac{6 \times 1}{6^2} = \frac{1}{6}$$

- (2) カードが左から順に 4, 3, 2, 1 と並ぶのは, 1 回目に  $\{1, 4\}$ , 2 回目  $\{2, 3\}$  の球を取り出す場合と 1 回目に  $\{2, 3\}$ , 2 回目に  $\{1, 4\}$  を取り出す場合の 2 通りであるから, 求める確率は

$$\frac{2}{6^2} = \frac{1}{18}$$

- (3) 左端のカードの数字が 1 になるのは, 次の i), ii) の場合.

- i) 1, 2 回目ともに  $\{1, k\}$  ( $k = 2, 3, 4$ ) を取り出す確率は

$$\frac{3}{6^2} = \frac{1}{12}$$

- ii) 1, 2 回目ともに 1 以外の球を取り出す確率は

$$\frac{({}_3C_2)^2}{6^2} = \frac{1}{4}$$

- i) と ii) は互いに排反であるから, 求める確率は  $\frac{1}{12} + \frac{1}{4} = \frac{1}{3}$

- (4) 左端が  $X$  となる確率を  $P(X)$  とすると, (3) の結果より  $P(1) = \frac{1}{3}$   
左端に 2, 3, 4 のカードが並ぶ確率は等しいから

$$P(2) = P(3) = P(4) = \frac{1 - P(1)}{3} = \frac{2}{9}$$

よって, 求める期待値は  $\sum_{k=1}^4 kP(k) = 1 \cdot \frac{1}{3} + (2 + 3 + 4) \cdot \frac{2}{9} = \frac{7}{3}$  ■